

「あかぎ無限大キャンプ（事前キャンプ）」

1. 趣旨

- (1) 7泊8日の長期自然体験活動において、協働的な体験プログラム（野外炊事、赤城山登山、レクリエーション等）を通して、多様性を認め合える意識の醸成を図る。
- (2) 7泊8日の長期自然体験活動の集中的な屋外活動（外遊び）を通して、近視進行の抑制（健康の保持増進）を図る。

2. 事業の概要

(1) 期日

令和4年7月9日（土）～7月10日（日）【1泊2日】

(2) 参加者 24名

5年生男子（5名） 6年生男子（7名）

5年生女子（6名） 6年生女子（6名）

3. 企画運営のポイント

- (1) 本キャンプに向けて、心身の準備を自分なりに考えられるようにゆとりをもった日程・プログラムを計画した。また、登山・野外炊事についても基本的な知識・技能の習得が確実にできるように、丁寧な説明と全員が全ての行程を体験できるようにした。
- (2) ボランティア主体のアイスブレイクを取り入れることで、参加者との距離を縮めるとともに、実態把握を円滑にできるように配慮した。
- (3) 特定の参加者同士で固まらないように、プログラムごとにチーム編成を変更した。また、全てのボランティアに関わることができるようにも配慮した。

4. 日程

	午前	午後
7月9日（土）	受付 開会式 自己紹介・アイスブレイク 昼食	レクリエーション・眼の検査 野外炊事 入浴 ふりかえり 就寝
7月10日（日）	朝のつどい 朝食 登山 （覚満淵～鳥居峠～長七郎～小沼） 昼食（小沼湖畔）	ふりかえり アンケート 解散

5. 主な活動内容



「開会式」



「アイスブレイク」



「野外炊事」



「朝のつどい」



「赤城山登山①」



「赤城山登山②」

6. 成果と課題

(1) 参加者アンケート結果

満足	: 21人 (88%)	やや満足	: 3人 (12%)
やや不満	: 0人 (0%)	不満	: 0人 (0%)

(2) 参加者の声

- ・初めてあった人と楽しく遊べた。
- ・みんなが協力できるプログラムだと思った。
- ・キンボールを始めてやったので楽しかった。
- ・ボランティア一人一人が考えてくれたレクがよかった。
- ・野外炊事では、役割分担をして、効率的にできた。
- ・水分量が多くてびちょびちょになったので、本キャンプでは失敗しないようにしたい。
- ・炊飯器以外でお米を炊いたことがなかったので楽しかった。
- ・本キャンプまでに体力をつけたい。
- ・登山であきらめたかったとき、みんなに声かけしてもらってやる気ができた。達成感がすごかった。

(3) 成果

- ・「思った以上に友達ができよかった。」や「スタッフが優しく接してくれた。」という参加者の声が多いことから、仲間づくりに成功し、本キャンプへの期待が高まったと考える。
- ・野外炊事において、「水分量を間違えた。次に生かしたい。」など改善点が多数上がっていたことから、野外炊事の課題を見つけ、本キャンプに生かそうとする態度につながったと考える。
- ・赤城山登山では、体力的に厳しかった参加者が多く見られたが、本キャンプに向けて「体力づくりをがんばりたい。」という前向きな感想が多く見られた。

(4) 課題

- ・保護者面談について、本人が申し込みたいと言ったかどうか・学校での友人関係・参加者の体力・女子には生理の事等の共通フォーマットを作成する。
- ・コロナ禍で子供たちの体力が落ちていることを痛感した。今回のプログラムを受けて本番のプログラムを再考する。
- ・眼科検診時の活動（レク等）はグループごとで行えるものなどに再考する。

担当：企画指導専門職 小林 大輔